

令和2年6月24日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）全国大会等の中止に伴う代替大会の開催について

本県の代替大会の競技数が17競技となっている理由とその所感を伺う。
また、教育委員会として甲子園や全国大会に向けて、懸命に頑張ってきた生徒の心情をどのように受け止めており、そうした生徒に対してどのようなエールを送るのか、併せて教育長に伺う。

（答）

代替大会の実施競技につきましては、主催する学校体育団体において、全ての競技の大会実施について、専門家と連携しながら、慎重に検討されたと伺っております。

そうした検討を踏まえ、三密の回避が困難であることや、競技団体主催大会を代替大会とするなどの理由で、実施を見送られた競技があると聞いており、この決定は、苦渋の決断ながら、やむを得ないものであったと考えております。

この度、代替大会が開催されることは大変喜ばしいことであるとともに、代替大会に参加される生徒の皆さんには、これまで自分を支えてくれた全ての人達への感謝の気持ちを忘れず、参加していただきたいと思っております。

参加に当たっては、これまでの練習の成果を存分に発揮し、互いに競い合う中で新たな自分を発見する場としていただきたいと思っております。

一方、代替大会が実施されない競技に取り組んできた生徒にとっては、代替大会が開催されないことは、大変残念なことであったと思っております。

これまで部活動で深く追究してきた「挑戦すること」や「最後まで諦めないこと」そして、「仲間と助け合うこと」などのスポーツを通じた学びは、大変意義深く、必ず今後の人生の糧となると考えており、この試練を乗り越え、次の未来への一步を踏み出していただきたいと思っております。